

News Letter

自治医科大学附属病院 卒後臨床研修センター

平成
30
年
12
月

クリスマスイルミネーションが目を楽しませてくれる季節となりました。皆様おかわりなくお過ごしでしょうか。さっそくNewsletter 第10回配信です！ どうぞお楽しみください。

〈 診療科紹介 脳神経外科 〉

全国の医学生の皆さん、充実した学生生活を送っていますでしょうか？ もう既に卒後研修の希望病院を決めている方や希望の県や地域はイメージしているが施設はまだ、はたまた全く白紙という方までさまざまかと思います。今号では自治医科大学脳神経外科学講座についてご紹介させていただきます。皆さんの研修先選びの一助となれば幸いです。

自治医科大学脳神経外科は成人・小児病棟合わせて47病床を有し、年間約500例の手術を行っています。脳腫瘍や脳血管障害、てんかんやパーキンソン病などの機能的疾患など多岐にわたる患者さんが治療を受けています。小児疾患に対しては、自治医科大学とちぎ子ども医療センターに小児脳神経外科という診療科を有しあらゆる小児神経外科疾患に対応しています。脳血管内治療部では年間140例を超える手術と270例を超える血管造影検査を行っています。また、救命救急センターを有することから急性期脳血管障害や神経外傷などの診療も多く行われています。大学病院というと、市中病院から紹介の予定手術がほとんどとイメージするかもしれませんが、自治医科大学病院では急性期医療も包括した幅広い疾患の診療に従事し研修することが可能です。研究では、頭蓋内電極やfMRI、覚醒下マッピングなどの手法を駆使した脳機能・病態の解明、ナビゲーションシステムや3D実体モデルを応用した手術支援システムの開発、遺伝子解析に基づいた腫瘍治療の開発、脳機能回復のためのニューロフィードバック手法の確立など多岐にわたる領域に取り組んでいます。

自治医科大学病院では初期研修から専門医研修、その後のsubspecialty領域の獲得まで充実した環境で取り組んでいただくことが可能です。是非とも来ていただき、一緒に楽しく頑張りましょう！



〈 第8回 医学教育センターだより 〉

平成 30 年度版医師国家試験出題基準で追加・変更された項目・疾患を中心に予想問題を作成します。

第 8 回は医学各論Ⅳ、Ⅴ、Ⅵです。

医学各論 Ⅳ、Ⅴ、Ⅵの主な変更点を示します。

●医学各論：

Ⅳ 呼吸器・胸壁・縦隔疾患：

感染性呼吸器疾患；耐性菌、日和見感染症〈opportunistic infection〉、嚥下性肺疾患
免疫学的機序が考えられる疾患；(急性、慢性)好酸球性肺炎、Langerhans 細胞組織球症、
アミロイドーシス、悪性リンパ腫、白血病

実質性・間質性肺障害；炎症性腫瘍、薬剤性肺障害（分子標的薬）、化学薬品、重金属などによる肺障害、酸素中毒、パラコート中毒

Ⅴ 心臓・脈管疾患；心不全；右心不全（肺高血圧症）

Ⅵ 消化器・腹壁・腹膜疾患：

食道疾患；逆流性食道炎、非びらん性胃食道逆流症〈NERD〉

胃・十二指腸疾患；胃底腺ポリープ、過形成ポリープ、スキルス型胃癌、
十二指腸腺腫・癌、十二指腸乳頭部腫瘍

小腸・結腸疾患；吸収不良症候群（短腸症候群）

消化管共通疾患；抗血小板薬による粘膜障害、血管性病変；虚血性小腸炎・大腸炎、胃前庭部毛細血管拡張症〈GAVE〉

肝疾患；B 型肝炎ウイルスの再活性化

その他の重要な小児領域の疾患；先天性十二指腸閉鎖・狭窄症（ダブルバブルサイン）、腸重積症（カニ爪陰影欠損、target sign）

VI 消化器・腹壁・腹膜疾患

予想問題 1

58歳の男性。初めての上部消化管内視鏡検査で胃病変を指摘され来院した。自覚症状はない。

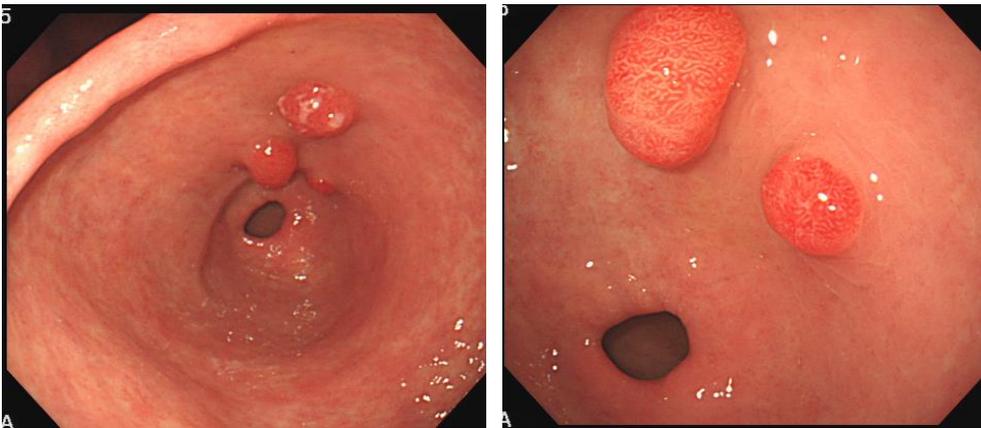
既往歴：56歳時に一過性脳虚血性発作があり、アスピリンを服用している。

家族歴：特記すべきことはない。

喫煙歴：ない

飲酒歴：晩酌ビール350 mL/日

胃前庭部内視鏡像の遠景像と近接像とを示す。



この病変について誤っているのはどれか。

- a 経過観察でよい。
- b 年とともに数が増える。
- c 慢性貧血の原因となる。
- d 癌が含まれている可能性が約10%ある。
- e ヘリコバクター・ピロリ菌の除菌治療を勧める。

正解： d

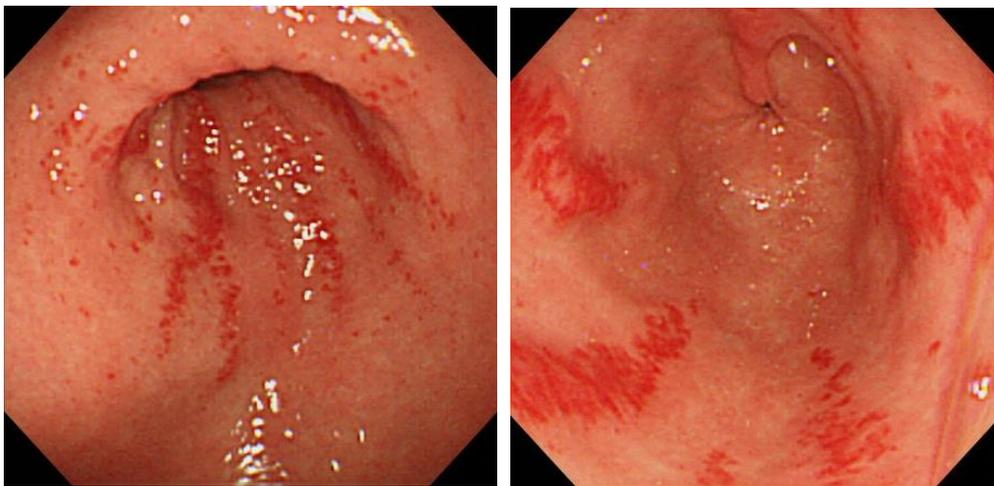
解説：胃内視鏡写真では前庭部に最大8 mm大の山田2型および3型のポリープが3個認められる。頭頂部は発赤が強く、白苔を伴うものもある。近接すると粗大な粘膜模様がみられる。背景となる胃粘膜には萎縮性変化がみられる。胃炎を背景とした過形成性ポリープの所見である。胃ポリープは粘膜上皮の限局性増殖により胃内腔に突出した隆起の肉眼的総称であるが非上皮性腫瘍、最初から悪性を考える病変は含めない。内視鏡検査時に5~7%の割合で発見され、単発、多発いずれもある。大多数は過形成性ポリープであり加齢とともに増加する。

胃ポリープは、病理学的に、背景胃粘膜に萎縮性変化を有する過形成性ポリープ、萎縮を

伴わない胃体部の胃底腺領域に好発する胃底腺ポリープおよび良・悪性境界病変とされる腺腫性ポリープに大きく分類される。過形成性ポリープは胃腺窩上皮の過形成による腺管の延長と嚢胞状拡張を特徴とし間質には炎症細胞浸潤、浮腫、毛細血管拡張を伴う。良性ポリープであり基本的には経過観察でよいが大きくなるにつれて出血と癌化の問題がある。増大したポリープでは表面がもろく出血を伴い貧血の原因になりえる。過形成性ポリープに癌が存在する頻度は全体では0.6~2.1%とされているが、サイズによって異なり1 cm以下ではほとんどみられず、1~2 cmで0.9%、2 cm以上では8%と言われている。1 cmを越えるポリープは内視鏡的切除（ポリペクトミー、粘膜切除）を勧める。ヘリコバクター・ピロリ菌による萎縮性胃炎を背景に生じることが多く、除菌治療にてポリープの縮小、消失が期待できる。

予想問題 2

71歳の女性。1か月前から黒色便を時々自覚していたが、3日前から息切れがするため来院した。既往歴と家族歴とに特記すべきことはない。身長 150 cm、体重 42 kg。体温 36.5℃。脈拍 92/分、整。血圧 110/50 mmHg。検査所見：赤沈 24mm/1時間。血液所見；赤血球 281 万、Hb 7.5 g/dL、白血球 5,200、血小板 9.2 万。血液生化学所見；TP 6.7 g/dL、Alb 3.6 g/dL、CRP 0.1 mg/dL、Fe 14 µg/dL、UIBC 393 µg/dL（基準 116~282）、フェリチン 15 ng/mL（基準 21.8~274.7）。上部消化管内視鏡像の胃体下部と胃前庭部とを示す。



この病変の原因として考えられるのはどれか。

- a Ménétrier 病
- b アルコール性肝硬変
- c 非ステロイド抗炎症薬
- d ヘリコバクター・ピロリ胃炎
- e IgA 血管炎 〈Schönlein-Henoch 紫斑病〉

正 解： b

解 説：胃前庭部毛細血管拡張症〈gastric antral vascular ectasia： GAVE〉は胃幽門前庭部の毛細血管からの出血をきたす疾患である。内視鏡所見は毛細血管拡張を反映した胃前庭部に放射状に広がる発赤が特徴的で、その様相から watermelon stomach と呼ばれる。GAVE の原因には肝硬変、慢性腎臓病〈CKD〉、心不全、全身性強皮症などがある。胃以外の疾患の随伴所見としてみられることが重要で、本症例のように貧血を契機に GAVE が見つかった場合は基礎疾患の検索が必要になる。GAVE からの出血は少量ずつの間欠的なものが多く大出血をきたすことは稀だが、病変が比較的広範囲に及ぶため内視鏡的止血に難渋する。病変部に対してアルゴンプラズマ凝固による焼灼などが行われるがしばしば再発するため、基礎疾患のコントロールが重要になる。

選択肢考察：

×a Ménétrier 病は胃壁の肥厚と蛋白漏出を特徴とした疾患で、蛋白漏出胃腸症の原因疾患の一つである。

○b 上記。

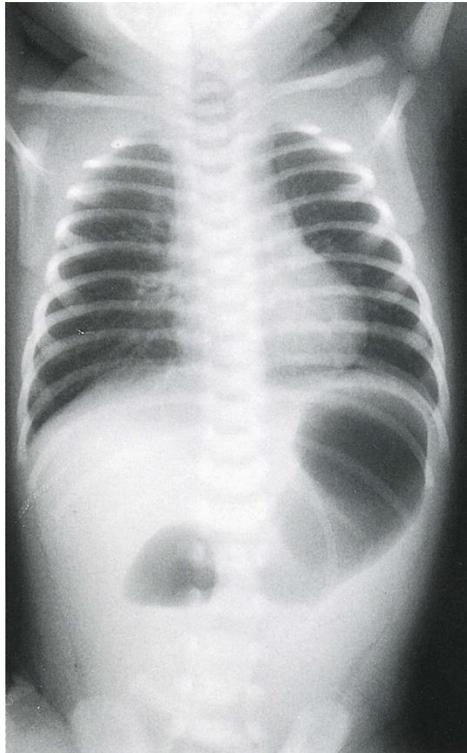
×c 非ステロイド抗炎症薬は酸環境下での粘膜に対する局所作用と、シクロオキシゲナーゼ抑制を介した胃粘膜プロスタグランジン減少による粘膜抵抗の減弱により、粘膜障害を起こす。胃潰瘍、急性胃粘膜障害を起こすが、本症例の内視鏡所見にはびらんや潰瘍はなく合致しない。

×d ヘリコバクター・ピロリ胃炎では急性感染では急性胃粘膜障害、慢性感染では萎縮性胃炎を起こす。急性胃粘膜障害では発赤、びらんとそれに伴う浮腫性粘膜などが散在するのが特徴である。萎縮性胃炎の場合はびまん性に褪色した粘膜がみられるが、いずれも本症例の病変とは異なる。

×e IgA 血管炎は血管炎を主体とする疾患である。皮膚の紫斑のほか消化管にも病変がみられるが、十二指腸～空腸にかけてのことが多い。小腸に斑状の発赤が散在し消化管出血の原因となるが、本症例の病変とは異なる。

予想問題 3

出生直後の新生児。胆汁性嘔吐があり診察を依頼された。啼泣が弱く、筋緊張の低下を認める。上腹部に軽度の膨隆を認める。顔貌の写真と胸腹部立位エックス線写真とを示す。



まず行うのはどれか。

- a 高圧浣腸
- b 気管挿管
- c 胃内視鏡検査
- d 上部消化管造影
- e 経鼻胃管の挿入

正 解： e

解 説： Down 症候群に伴う先天性十二指腸閉鎖（ダブルバブルサイン）の症例である。

自治医科大学医学教育センター・センター長・教授
岡崎仁昭